



余土の福祉だより

第38号 (令和5年3月1日発行)

発行・編集

余土地区社会福祉協議会

松山市余戸東4-4-34
松山市余土公民館内
☎ (089) 971-6752

(株)松栄印刷所
☎ (089) 941-3334

暮らしに役立つ相談窓口

高齢者相談	高齢者に関する介護保険などの一般的な相談	☎ 089-948-6593 FAX 089-934-1832
障がい者総合相談	身体、知的、精神、発達障がい、高次脳機能障がいや難病の方の相談	☎ 089-943-6307 FAX 089-943-6688
自立相談支援窓口	生活する上で経済的に困っている方の相談	☎ 089-948-6875 FAX 089-943-6688
生活福祉資金相談	低所得世帯等への貸付相談 (※市社会福祉協議会が相談)	☎ 089-941-4232 FAX 089-943-6688
ひとり親自立支援相談	就職、福祉資金の貸付相談	☎ 089-948-6749 FAX 089-934-1814
婦人相談・家庭児童相談	DV、養育費、子どもの養育などの相談	☎ 089-948-6413 FAX 089-934-1814
すくすく・サポート市役所	妊娠期から子育て期にわたる妊娠・出産・子育ての相談	☎ 089-948-6343 FAX 089-934-1537
保育・幼稚園相談	保育所、幼稚園、認定こども園等の入園に関する相談	☎ 089-948-6774 FAX 089-934-1021
地域包括支援センター垣生・余土最寄り	高齢者の介護予防・総合相談支援の拠点 かかりつけ医、警察署、交番、施設	☎ 089-989-7600 FAX 089-971-6510

相談した事例

○ 相談を受け、訪問後すぐに包括支援センターに連絡した。行動だけでなく食事など、生活全般に自宅での生活は無理との助言を受けた。その後施設入所の手続きをしてもらった。

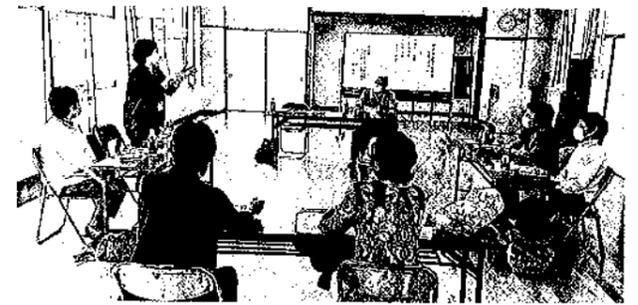
今は穏やかに過ごしておられる。包括支援センターの方の素早い対応に感謝!!

○ 訪問を終え、二人で外に出ると、話し掛けて来た方の話が会話として成立しない。立ち去ろうとするので、警察に連絡して、パトカーに来てもらった。説明をしていると、その方の入所している施設の車が来て無事帰られ、二人で安堵した。

○ 母の介護を始めた頃、私はいら立ちばかり...。かかりつけ医に話すに「認知症でないなら大いに親子げんかをしてあげなさい。脳にいいよ。」と、教わりました。それからは遠慮せずげんか。言い過ぎた時は謝りの電話。

母は九十三歳まで頑張ってくれました。

勉強会の感想



勉強会の様子

「認知症の勉強会」(出席者 出合町内会副会長、余戸南の民生児童委員5名)に参加した。認知症のご家族の介護経験がある方々から、それぞれ貴重な話を伺い、大変有意義な時間を過ごした。

ある方は、六十五歳で認知症を発症した妻の介護の日々を、少し涙ぐみながら話された。急激に進む症状に追い付けない介護者の葛藤が伝わり、胸に迫り聴き入った。

またある方は、頻繁に出歩き迷う症状への対応に、苦慮した経験を話された。出歩く先やコンビニに、認知症であることを率直に伝えることで、見守り体制を作った。誰もが面食らう症状にも、果敢に立ち向かわれていた。こんな話もあった。「九十五歳の母は年々少しずつ出来ない事が増えている」と生活の中の小さな変化に気付き、細やかに対応されており、参加者は感心しきりであった。

- 令和4年度受賞者**
- 受賞おめでとうございます
- 松山市民生児童委員大会
松山市民生委員・児童委員協議会
会長表彰
優良民生委員・児童委員
片岡 知佳 樋口 明美
渡部 志郎
- 松山市福祉大会
松山市長表彰
民生委員・児童委員功労者
井上 和子 片岡 知佳
清水 澄子 竹田ひろみ
玉井 実佐 戸井田 祝
西原 文江 樋口 明美
堀内アイコ 八木 香代
地域福祉活動功労者
河野 サヨ 本田美津子
- 松山市民生児童委員協議会会長表彰
石川 修子
松山市民生委員・児童委員協議会会長表彰
共同募金奉仕功労者
田中 史恵 和川 好夫
愛媛県社会福祉大会
愛媛県社会福祉協議会会長表彰
民生委員・児童委員功労者
渡部美代子
永年勤続民生委員・児童委員表彰
和田 好夫
愛媛県共同募金会長表彰
共同募金奉仕功労者
井上 和子 戸井田 祝
全国社会福祉大会
全国社会福祉協議会会長表彰
民生委員・児童委員功労者
戸井田節子

こうして話せる仲間、見守る家族や隣人、地域...と人の輪が広がっていけば、誰もが安心して歳を重ねて行けるだろう。そんな期待が持てる、心の温かくなる勉強会であった。

(文責 松山市地域包括支援センター垣生・余土 保健師 森 糸り)



若者の成長はいつ見ても楽しいものです。いつの間にか立派に仕事をこなすようになっけていきます。陰で努力をしているのでしよう。

山本周五郎作『赤ひげ診療譚』は、江戸時代の小石川養生所が舞台。長崎で最新のオランダ医療を学び、御番医になる夢を持った保本登が、帰参早々養生所に呼ばれます。納得のいかに保本は、所長赤ひげに反発します。しかし、卓越した医療技術を持ち真つぐな赤ひげの姿勢に、やがて心を開き、お仕着せを着て、医師として成長していく様を描いています。

はじめに、神か仏の生まれ変わりと言われ、薬さえも人あげる、ムジナ長屋で死んだ車大上の佐八に

は、おなかとの悲しい物語がありました。

次に、養生所へ運ばれてから一言も口を利かなかつた六助老人は、かつては有名な蒔絵師で、抱えきれない苦悩を抱いて黙って死んでいきます。娘おくにが訪ねて来て、その事情が明らかにあります。

このようない悲しみを抱え、貧しさに堪えながら助け合っている江戸庶民と交流を重ね、庶民の暮らしを知っていきます。また、保本は治療代も払えない貧しく無知な江戸庶民の治療を続けながら、患者を見る目が優しくなり、医師としての在り

「赤ひげ」に学ぶ

養生所を出たくて仕方なかった保本が、金や名譽にも縁遠くなっても、療養所に残る決断をする姿から、病人の苦しみが理解できる医師になるだろう予感がします。

時代は変わっても、人を慈しむ気持ちと、困っている者へ寄り添う姿勢は、無くなりたいものであります。この度、新しい民生児童委員さんが委嘱されました。高齢者や障がいのある方、子どもさんを真ん中にして、地域の皆様のために力を尽くされることを期待します。



赤い羽根 共同募金の御礼

余土地区町内会をはじめ多数の皆様は、温かいご支援ご協力に、お礼を申し上げます。

後日、愛媛県共同募金会から、還元金が配分されます。

還元金は高齢者クラブ、児童クラブ等、余土地区の福祉事業に活用させていただきます。

目標額
二、三五五、四〇〇円
実績額
二、三二八、七八〇円

善意の御礼

まごころ銀行を通じて、余土地区社協へ、多額の御寄付をいただきました、ありがとうございます。

関谷 藤子 様
越智 美鈴 様

氏名	住所	担当地区(丁目・番)	みまもり員
榎岡 千種	市坪南3丁目	市坪南1丁目1~6番・市坪南3丁目	石川 修子
◎本田 さとみ	市坪南2丁目	市坪南1丁目7~8番・市坪南2丁目・市坪西町	
清水 澄子	市坪北1丁目	市坪北1丁目1~14番	
片岡 知佳	市坪北1丁目	市坪北1丁目15~19番	
◎石村 隆	市坪北2丁目	市坪北2丁目1~14番・市坪南1丁目9~16番	
◎永井 里江	市坪北2丁目	市坪北2丁目15~19番	森松 和世
竹田 軍三	保免上1丁目	保免上1丁目	
◎大塚 定	保免上2丁目	保免上2丁目	
緒方 英子	保免中1丁目	保免中1丁目	
堀内 アイコ	保免中2丁目	保免中2丁目・3丁目	
高橋 勝恵	保免西1丁目	保免西1丁目	黒河 八重子
田中 史恵	保免西2丁目	保免西2丁目	
西原 文江	保免西3丁目	保免西3丁目・4丁目	
◎大森 一衛	余戸東1丁目	余戸東1丁目	
和田 好夫	余戸東2丁目	余戸東2丁目1~3番・6~8番	
◎山中 信一	余戸東2丁目	余戸東2丁目4~5番・9~13番	渡邊 智恵子
樋口 明美	余戸東3丁目	余戸東3丁目	
松岡 和子	余戸東5丁目	余戸東4丁目1~4番・余戸東5丁目1~6番	
竹田 ひろみ	余戸東4丁目	余戸東4丁目5~12番	
長瀬 憲正	余戸東5丁目	余戸東5丁目7~17番	
八木 香代	余戸南2丁目	余戸南1丁目・2丁目	山田 千秋
高野 新一	余戸南3丁目	余戸南3丁目	
釣井 総一郎	余戸南4丁目	余戸南4丁目1~14番・出合	
◎二宮 園美	余戸南4丁目	余戸南5丁目・6丁目	
保木山 はつえ	余戸南4丁目 余戸中2丁目 余戸中3丁目	余戸南4丁目15~19番 余戸中2丁目1~4番 余戸中3丁目1番・2番	
渡部 志郎	余戸中1丁目	余戸中1丁目	森 美鈴
片上 和子	余戸中2丁目	余戸中2丁目5~15番	
渡邊 百合江	余戸中3丁目	余戸中3丁目3~10番	
◎芳村 英行	余戸中4丁目	余戸中4丁目	
玉井 実佐	余戸中5丁目	余戸中5丁目	
◎松浦 信孝	余戸中6丁目	余戸中6丁目	永井 久美子
越智 美鈴	余戸西1丁目	余戸西1丁目	
長岡 博明	余戸西2丁目	余戸西2丁目~4丁目	
芳之内 厚	余戸西5丁目	余戸西5丁目・6丁目	
戸井田 節子	余戸中6丁目	主任児童委員	
藤岡 佐智子	市坪南1丁目	主任児童委員	顧問
上原 光代	余戸中3丁目		

民生委員・児童委員の改選

「支え合い、
住みよい余土を
目指して」

余土地区民生児童委員
協議会会長

竹田 軍三

地域の皆様には、日頃より私たちの活動にご支援、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年十二月民生児童委員の改選があり、余土地区は、九名の委員が交代しました。退任された皆様には、地域福祉向上に貢献されたご労苦に感謝致します。退任後もキャリアを生かし、ご指導の程よろしくお願ひします。

現在、余土地区は民生児童委員三十四名・主任児童委員二名が活動しています。主任児童委員について紹介させていただきます。

主任児童委員は、平成六年に始まった制度で、児童福祉に関わる機関と民生児童委員との連絡調整を行うことや、児童委員の活動に対する援助を行うことを主な職務とし、児童福祉問題全般の充実のために広域的、専門的に取り組んでいます。児童福祉に関する相談等があれば地区担当の民生児童委員に気軽に連絡してください。

コロナ禍において、地域を取り巻く環境が大きく変化し、住民同士の関係が希薄になっていく今日この頃ですが、関係機関の協力を得ながら、新メンバーでしつかりコミュニケーションを図り、地域福祉の向上に向け活動していきたいと思ひますので、よろしくお願ひ申し上げます。



定例会(月1回)

「民生児童委員で ひとつもうけ」

河野 サヨ

厚生労働大臣からの委嘱状を受け取り、即、研修会。おっかなびつくりの瞬間！私にできるかしらと悩んでなんかいられない。こうなりややるしきやない!! ど

うせやるなら楽しまなくっちゃあど腹をくくる。

町づくり協議会のメンバーに加わり、社会福祉協議会と連携して住みやすい地域を目指しての活動。小中学生の見守り、独居高齢者との語らいや様々な支援。そして民生児童委員で立ち上げたふれあいいきいきサロンの運営。

種々の困難もあるけれどそれを乗り越えた時の充実感、ありがたうと笑顔で声を掛けられた時の喜びはかけがえのないもの。たくさんの人々との関わりの中でつながりの輪が広がっている。楽しませてもらっている……と。

人もうけができました。そこでハッと気が付いたのです。私の方が育てられている。楽しませてもらっている……と。今後はこの「人もうけ」を元手に健康長寿のいきいきライフを送りたいと思ひます。つながってください。皆様に感謝です!!

心を整える

言葉や趣味は、困り事の捉え方を変え、それを乗り越える力を湧かせてくれます。そして悩む心を軽くしてくれます。

言葉や趣味を育む情報源は、身近な人たちとの会話、小説や映画の台詞、音楽の曲名、歌詞やメロディ、テレビ・ラジオの番組等があります。

日頃からアンテナを張り、心の暗れる暮らしをしましょう。

(文責 編集部)

退任者(地区別)

本川美津子 藤岡 良久
渡部美代子 井上 和子
河野 サヨ 高石 輝美
竹田 妙子 戸井田 祝
松浦 侃

このたび九名の民生児童委員が交代しました。困りごと等ありましたら、一人で悩まず次頁の民生児童委員にご相談ください。優しい笑顔で待っています。